

内定者の声

～令和5年度入省予定 一般職事務系(大卒程度)～



写真:あやまる岬観光公園(鹿児島県奄美市笠利町)

はじめに

この度は「内定者の声」をご覧くださり、ありがとうございます。この冊子は、令和5年度入省予定の一般職事務系(大卒程度)の内定者が内定までの過程や勉強方法についてまとめたものです。公務員試験は勉強の範囲が広く、受験先の最新の情報を確認する必要もあり大変な一面もあるかと思います。公務員試験の勉強や面接について、皆様の中に不安や疑問を抱えている方もいるかもしれません。この冊子を活用し、説明会等の中々参加出来ない方など、採用等に関する情報を手に入れにくい方々にも、公平に有益な情報をご提供出来ればと思います。この『内定者の声』が、環境省へのご理解やご興味を深める契機となり、皆様の進路選択の一助となれば幸いです。。

令和5年度環境省入省予定
一般職事務系(大卒区分)内定者一同

目次

○はじめに（内定者一同）	・ ・ ・ P2
○目次	・ ・ ・ P3
○第一部 基礎情報	・ ・ ・ P4
○第二部 内定者プロフィール	・ ・ ・ P6
○おわりに～環境省志望者へのメッセージ～	・ ・ ・ P17

第一部 基礎情報

①R4年度試験スケジュール

日程	内容
令和4年 2月1日～	受験案内がHP掲載される（人事院）
3月18日～3月28日	インターネットによる受験申込
6月12日	第1次試験
7月6日	第1次試験合格発表
7月8日、11日、12日	環境省官庁訪問（※1）
7月13日～7月29日	第2次試験（人物）
8月16日	最終合格発表
9月7日、15日、10月5日	環境省官庁訪問（※2）
10月4日	採用面接→内定式

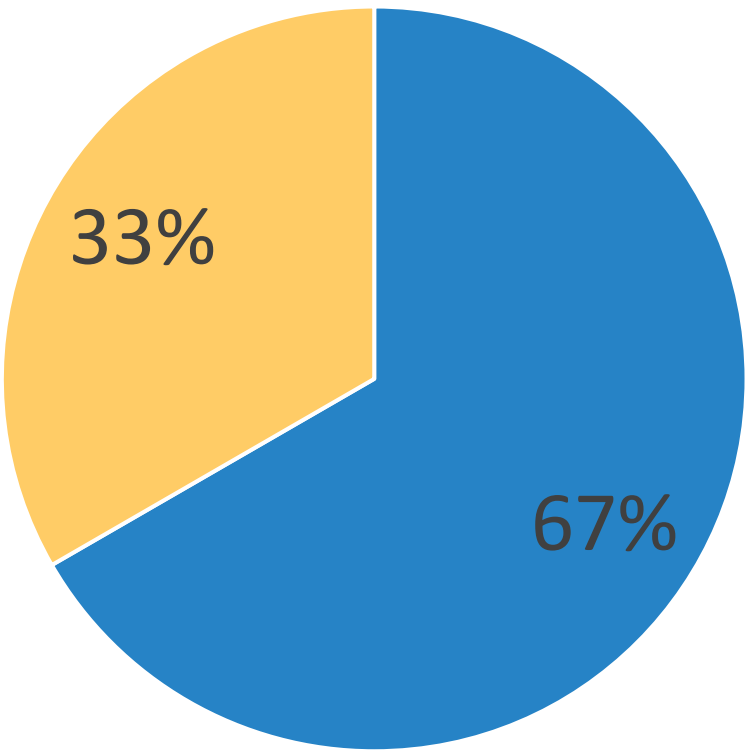
※1 官庁訪問の予約受付は人事院の第1次試験合格発表と同時に開始。
実施方法是对面面接が基本。

※2 令和4年度は9月、10月にも官庁訪問が実施されました。
（毎年必ず実施されるわけではない。）

②内定者基礎データ集

男女比

■ 男性 ■ 女性

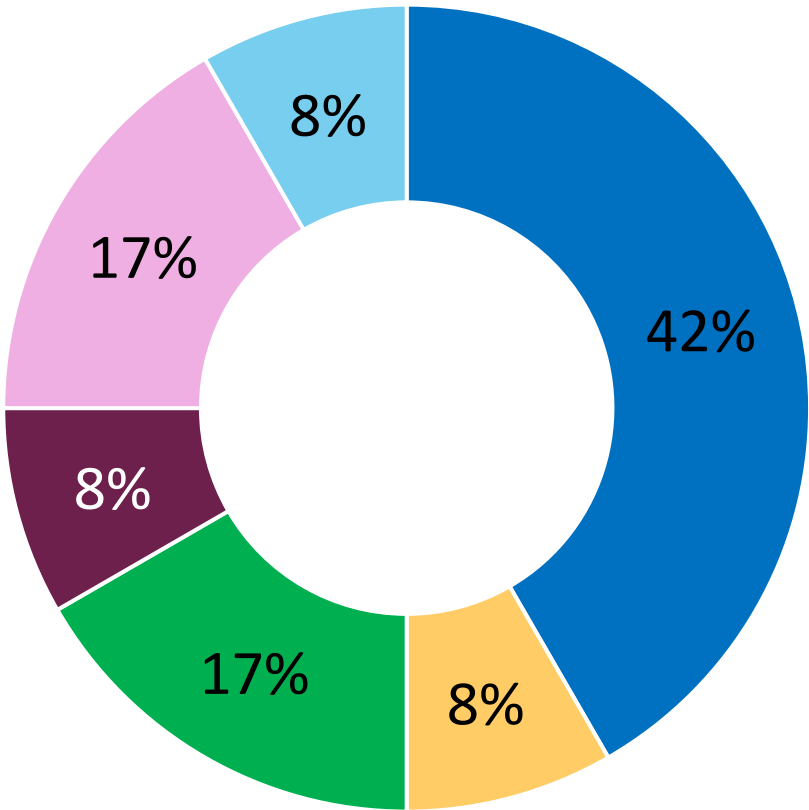


最終学歴

横浜国立大学 早稲田大学 高崎経済大学
東京都立大学 九州大学 東京経済大学
専修大学 東京農業大学 法政大学
学習院大学 都留文科大学

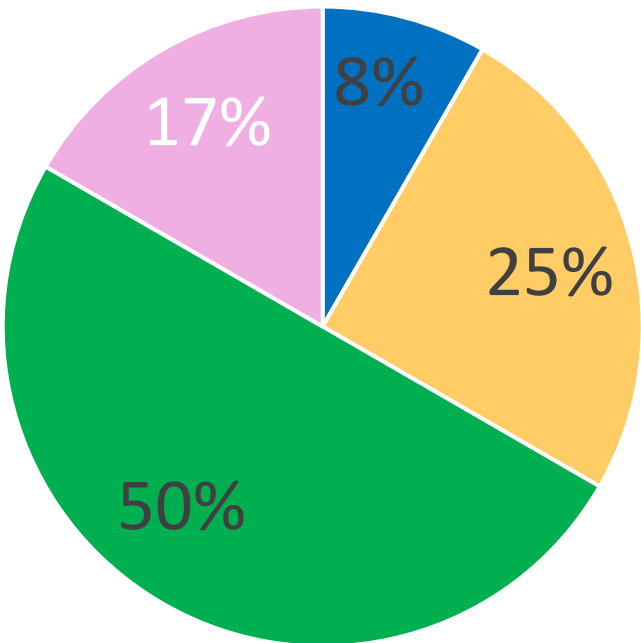
官庁訪問日

■ 7月8日 ■ 7月11日 ■ 7月12日
■ 9月7日 ■ 9月15日 ■ 10月5日



説明会参加回数

■ 10回以上 ■ 3~5回程度 ■ 1, 2回程度 ■ 参加歴なし



出身地

北海道 青森県 群馬県
東京都 静岡県 新潟県
長野県 岐阜県 福岡県

※一般職事務系の説明会に限らない。

第二部 内定者プロフィール

ここからは一般職事務系（大卒程度）内定者12名が環境省志望動機や公務員試験勉強方法・面接対策について、自身の体験に基づいて記述しています。
ぜひ、ご覧ください！

内定者 A

【出身地】 東京都
【最終学歴】 大学卒業見込み
【趣味／特技】 ラジオを聴くこと・野球観戦／草野球

志望動機

2つあります。1つ目は幼少期から自然と触れ合う環境を整備することによって、伸び伸びと子供たちが成長できる業務をしたく志望させて頂きました。2つ目は環境省の方々がとても優しく、気さくに対応して下さり、是非一緒に働きたいと思い志望させて頂きました。私が出演しているラジオ番組に、環境省の方々がゲスト出演してくださった際、自分の業務を楽しく話していたのが非常に印象に残りました。また、学生である自分に対しても優しく対応してくださり「一緒に働きたい」と言われ、そこで環境省を志望する決意をしました。

勉強方法・面接対策

1日平均3時間くらい勉強していました。逆に1日勉強しない日もありました。公務員試験は長期戦なので、メリハリをつけて勉強することが重要です。準備期間は1年くらいでした。

・基礎能力試験

私は文系で、数的処理が本当に苦手でした。そのため、本番で数的処理は「5割取れてればいいや」という気持ちで臨みました。逆に、現代文・英語・文系科目（日本史・世界史・地理など）は沢山勉強をしました。専門試験でも言えると思いますが、苦手科目を沢山勉強するより、得意科目を伸ばす方が個人的には良いと思います。

・専門試験

こちらも同様に、苦手科目だったマクロ・ミクロ経済学はあまり勉強せず、得意科目である憲法・民法・社会、政治学を中心に勉強しました。国家一般職は専門試験が選択制なので、ミクロ・マクロ経済学を一切取らなくても合格します。自分に見合った科目を中心に勉強するといいかと思います。また、社会学はとてもコスパがいい科目だと思います。覚える範囲が他の科目より少ないので、高得点を取れると思います。あと民法を得意科目にするといいと思います。私の場合、予備校のテキストを何度もノートに書き、その後過去問を何度も解いて勉強しました。どの科目にもいえますが、過去問を解くことは非常に大事です。なんなら問題文と答えを暗記するくらい解いてもいいと思います。

・論文試験

論文試験の勉強方法は最近、ニュースで話題に上がっている内容を正確に理解して、自分なりに、その問題に対する解決策を考えたりしていました。

・二次試験・面接試験・官庁訪問

まず大事なものは、自然体で臨むことです。面接官から質問されることを想定し、台本を作ったりすることはあまりおすすめしません。また、元気よく笑顔で面接することも大事です。正直、話す内容が不十分でも、笑顔で明るく対応すればなんとかなります。（体験談笑）人事院面接でも官庁訪問でも想定していなかった質問が何度も投げかけられます。その際、戸惑った顔はあまり見せず、面接官の目をしっかり見て、明るく受け答えしましょう。

最後に・・・

公務員試験は孤独との戦いです。多くの方は大学3年から勉強するかと思います。大学3年なんて、一番遊びたい時期ですもんね。そこを我慢して、周りに振り回されず勉強し続ければ、必ず合格すると思います。諦めず頑張ってください。環境省で皆様とお会いできることを楽しみにしています。

内定者B

【出身地】新潟県

【最終学歴】大学卒見込み

【趣味特技】温泉にいくこと、漫画を読むこと

志望動機

子どもの頃から、出身地である新潟県で発生した新潟水俣病のことについて学習していたり、近所の海に捨てられているゴミなどを見ていたりして環境問題に関心を持っていました。そして、大学の講義やゼミで水俣病といった公害問題や越境汚染について学んだことで、産業公害型から地球規模に変わっていく環境問題にさらに関心を持ちました。将来起こる可能性のある環境問題にも対応していく環境省で、様々な環境問題の改善に貢献したいと考え、志望しました。

勉強方法、面接対策

・教養試験

あまり時間がかけられなかったため、大学で申し込んだ予備校の講義とテキストを使いながら頻出される分野を効率よく勉強することを心掛けていました。数的処理が苦手ですと点数が伸び悩んでいたため、解けない問題が分かるようになるまで解き方を丁寧に確認しながら復習していました。

・専門試験

国家一般職が第一志望だったため、特に力を入れて勉強しました。予備校の講義を受けた直後は理解していても時間が経つと忘れていたといったことが多かったため、自信がある分野も次の日・1週間後・1カ月後の3回は必ず復習するようにしていました。また、苦手をなるべく減らすように、どの問題も見ただけで解き方や答えが思い浮かぶようになるまで重点的に復習しました。

・論文対策

予備校の論文対策の講義で、テーマについての基本的な情報や政策を学習していました。また、大学の講義で取り上げられていた社会問題もあったので、レジュメを読み返して問題点や政策提言を考えていました。文章については、予備校の添削を活用して減点される言葉使いなどを直していました。

・官庁訪問・面接対策

一次試験が終わってから対策を始めました。大学で行われている面接対策のガイダンスや実践講座などに参加して、自己分析や練習を行いました。志望動機や頑張ったことで話すエピソードは、その時なぜそう考えたかということについて細かく思い返して文章にすることで、追加の関連する質問にも答えられるようにしていました。また、官庁訪問がすべての面接の中で一番初めにあったため緊張しましたが、面接官の方が優しく話を聞いてくださるので普段通り会話する気持ちで臨むことができました。そして、面接の合間にある待ち時間で直前の面接で答えたことや反省点をノートにまとめることで、さらに面接に慣れて良い受け答えをすることができると思います。

内定者C

【出身地】岐阜県

【最終学歴】大学卒見込み

【趣味特技】散歩、ジョギング／整理整頓

志望動機

大学で、環境保全や環境問題などについて学んだため、広く環境にかかわることができるお仕事をしたいと考えていました。環境に関するより専門的な知識を身に付け、様々な経験を積むことができるのは、環境省であると思い、志望しました。

勉強方法、面接対策

・基礎能力試験

過去問を解くこと、広く満遍なく勉強することを意識しました。出題数の多い数的処理は毎日必ず解き、少しでも多くの問題を解けるようにしました。知識分野は、とにかく覚えることが大切なので、何度もテキストを読み込みました。

・専門試験

同じような問題が出ることが多いので、過去問を繰り返し解くことが特に大切だと思います。また、正答率の低い難しい問題を解けるようにすることよりも、基本的な問題を必ず抑えるようにすることを意識していました。

・二次面接＆官庁訪問

二次面接は、時間がかかなり短いため、質問に対して分かりやすく、簡潔に答えられるように意識しました。

官庁訪問は、ここで働きたいという熱意を伝えられるようにすることを一番意識しました。そのためには、自治体研究や自己分析をしっかりと行い、ただ暗記したことを話すのではなく、自分の言葉で話せるようにすることが大切だと思います。

・アドバイス

試験勉強や面接対策などやることがたくさんあり、大変で辛いと思うこともあるかもしれませんが、地道な努力の積み重ねが結果に表れると思います。時には休んだりもして、自分なりに一生懸命取り組みれば大丈夫です。応援しています。

内定者D

【出身地】 静岡県

【最終学歴】 既卒（2020年大卒）

【趣味/特技】 野球観戦／ラテアート

志望動機

国家公務員を志望するようになったのは、他の公務員と比べ規模の大きい業務に携わることができ、それを通じて人々の生活の根幹を支えていきたいと考えたからです。

環境省を選んだ理由としては喫茶店でのアルバイトをしているなかで、プラスチック削減やフードロスの取り組みが始まりました。そこから環境を考える機会が増え、興味を持つようになったからです。

勉強方法・面接対策

・教養試験

試験勉強を始めたのは8月頃からでした。2年前にも公務員試験を受けていたこともあり、内容をどこまで覚えているか確認しつつ、過去問を徹底的に解きました。教養試験の配点が専門より低いいため教養は最低限解けるレベルを意識していました。

・専門試験

机に向かって勉強する時間をあまり確保できなかったため計算が必要なミクロやマクロは捨てて暗記科目を中心に勉強しました。また、民法は2年前から改正された箇所があったことや、財政学では予算関係の数値も変わっていたためそこはしっかりと抑えました。ただ解き続けるだけだと記憶の定着につながらなかったため声に出してみるなど工夫をしました。

・論文試験

頻出テーマの論文に使えるような情報をノートにまとめ自分の中の引き出しを増やしました。あまり論文を書くことは得意ではなかったので制限時間内に書き切れるように何度も論文を書きました。また、教養の時事と併せて勉強し効率よく進めることを意識しました。

・面接/官庁訪問

予備校の面接練習が予約できないことが多かったため、水道橋にある仕事センターで練習しました。その中で礼儀作法や細かい言葉遣いを重視するよりも、拙い言葉だとしても自分の言葉で伝えることを意識しました。また、自分の経験したことをどのような形で仕事に生かすことができるのかを伝えられるように考えました。

官庁訪問に関しては面接の一週間前に訪問することが決まり、HPや環境白書を見て自分が興味のある分野を伝えられるように準備しました。

内定者E

【出身地】 福岡県
【最終学歴】 大学卒業見込み
【趣味／特技】 野球観戦、映画鑑賞

志望動機

環境省職員として、環境問題の解決に貢献したいと思い、志望しました。環境省のゼロカーボンシティやプラスチック資源循環促進法などの政策により、地元の自治体が環境に配慮した取り組みを始めたのを目の当たりにし、環境問題の解決に向けて、日本を変えることのできる環境省の政策に携わりたいと思うようになりました。

勉強方法・面接対策

・基礎能力試験

数的処理は、毎日少しでも問題に触れるようにし、過去問を繰り返し解きました。文章理解は、慣れが大事だと思い、現代文と英文をそれぞれ1日1問ずつ解くようにしていました。暗記科目は、試験の直前期に、寝る前にざっくりと確認し、次の日起きてから見直すという勉強法をしていました。

・専門試験

憲法、民法、行政法、経済原論に特に力を入れて、勉強しました。公務員講座の講義を受け、知識をざっくりと入れた後に、問題演習を行っていました。間違えた問題には印をつけ、解説やテキストで間違えた箇所を確認し、繰り返し解くようにしていました。財政学や経営学のような他の科目も同じように勉強しましたが、問題集を1周程度しかしていません。

・一般論文試験

様々なテーマについて、問題点や対策をまとめていました。ときどき時間を計って論文を書き、公務員講座の先生に添削をしてもらっていました。

・人物試験

公務員講座の模擬面接を受けて対策をしていました。模擬面接ではフィードバックがもらえ、面接の雰囲気になれることもできました。また、自分の言葉で伝えたいことを伝えられるように、自己分析は丁寧に行いました。

内定者F

【出身地】 東京都
【最終学歴】 大学卒業見込み
【趣味／特技】 釣り、海で遊ぶこと、サウナ

志望動機

環境保全ボランティア活動を通じて環境保全に携わりたいと強く考えたからです。

勉強方法・面接対策

筆記試験は午前中に数的処理と文章理解を必ず解き、午後は法律や経済学などの専門科目や暗記物をやる様にしていました。面接対策は民間志望の友人などにお問い合わせをして、たくさん模擬面接を行っていました。

内定者G

【出身地】長野県

【最終学歴】大学卒業見込み

【趣味/特技】料理、味噌作り

環境省の志望動機

自然豊かな地域で生まれ育ち、高校時代には山岳部に所属し、大学ではエコツーリズムに関係したゼミに所属するなど、自然と触れ合う中で、美しい自然を守り、将来に残していくことに貢献できる仕事に携わりたいと考えるようになりました。そのため、環境省であればどのような業務であれ、美しい自然を守ることに従事できると考え志望しました。

勉強方法・面接対策

筆記試験対策は、大手予備校が作成したテキストと講義動画を利用しました。授業の隙間時間や休日に図書館で講義動画を視聴しました。私は大学で経済学や法律を専門的に勉強していなかったのですが、公務員試験に特化した講義動画により、効率よく知識を吸収することができました。動画視聴後に、その単元の過去問演習を行いました。その際に、曖昧なことや分からないことをノートにまとめ、少ない演習で知識を身につけるように工夫しました。この工夫により、問題集を2周した程度で、合格点に到達することができました。

面接対策は、大学のキャリアセンターを利用しました。自己分析、面接練習はキャリアサポーターと一緒に行いました。1人で取り組むより、就活の支援や採用経験が豊富な方と一緒に取り組むことで、短時間でも実践的な面接対策ができました。

内定者H

【出身地】群馬県

【最終学歴】大学卒業見込

【趣味/特技】昭和歌謡曲を聴くこと・散歩・読書・サイクリング・風景写真を撮ること・書道

志望動機

発端は高校時代に部活で尾瀬に行ったこと。そこで見た美しい景色に感動し、そのような日本の景観を後世にも残していきたいと感じた。そのためには環境の保全や改善を行っていく必要があると考え、その活動に国という規模で携わっていききたいと考え志望した。

勉強方法・面接対策

1. 精神面…公務員試験はとにかく幅広く出題されるし試験期間も長いので根気が必要。その根気を維持するためには息抜きも必要。だからまずは適度に息抜きをすることを心掛けた。

2. 勉強面…私は大学3年生の夏休み以降から本腰を入れ始めたが、もっと早くてもいいと今では思っている。数的処理の問題は毎日3～5問とか少しずつでいいと思うので継続してやるのがよい。法律系科目は、ただ条文を暗記するのは面白くないし頭に入って来づらいので、具体的な事例を想像しながら覚えるのが良いと思う。

3. 面接対策…学校のキャリアセンターの人に面接練習をしてもらった。また、大学の公務員講座の先生とも練習を行った。あとは、他の公務員試験の面接も練習の一環として捉えると、次第に本番に緊張しづらくなってくる(と思う)。あとは、自分の気持ちの持ち様次第。「別に落ちたからと言って死ぬわけじゃないんだから、どうせなら思いっきりやろう」ぐらいの気概があって良いと思う。

内定者Ⅰ

【出身地】 東京都

【最終学歴】 大学卒業見込み

【趣味／特技】 映画鑑賞、博物館巡り、英会話

志望動機

国立科学博物館を訪れた際に、豊かな気候に恵まれた日本には多種多様な動植物が存在していること、そしてその生態系の維持には不断の努力が必要であることを知り、自然環境の保全に興味を持ちました。

環境省では生態系保全活動をはじめとしたありとあらゆる環境問題に地球規模で取り組んでおり、私自身もそのような役割を支え、貢献したいと考えるに至りました。

勉強方法・面接対策

・基礎能力試験

最も配点の高い数的処理に一番多くの時間を割きました。もともと数学に苦手意識があったので毎日取り組むことを心がけ、解説を呼んでも理解できない問題は逐一予備校の先生に質問して解決していました。

・専門試験

予備校の公務員対策問題集を繰り返しました。どの教科も一回目の問題演習はできるだけ授業後すぐに行い、頻出度AやBの問題を優先して取り組むことで勉強のモチベーションを維持しつつ記憶の定着を図っていました。

・面接

面接時の緊張を最小限にするために、何よりも事前準備を大事にしました。

面接対策テキストにある想定質問に加えて、自身で考え得る質問を事前に挙げ、それに対する自分なりの回答をしっかりと準備していききました。そのおかげで、面接では落ち着いて話すことができました。

また、話が長くなってしまう傾向があると自覚していたので、できるだけ簡潔に、一方的に話さず、会話のキャッチボールを意識して話しました。

内定者 J

【出身地】 北海道

【最終学歴】 大学卒業見込み

【趣味／特技】 野球、スポーツ観戦、ゲーム

志望動機

環境省を志望した理由は、大学のゼミで環境法ゼミに所属し、様々な環境関連について学ぶ中で、現在進行している地球温暖化の対策に携わりたいと思ったからです。このまま地球温暖化が進行していくと、異常気象や生態系の変化などにより私たちの生活や健康に大きな被害が及ぶ可能性があります。その中で私は、国民の未来を背負っている国家公務員として環境省に入省し、温暖化問題の解決に向け、地方公共団体や民間団体と協力しながら、国家としての取り組みを行いたいと思ったため志望しました。

勉強方法・面接対策

・教養試験

国家一般職が第一希望であったため、専門試験に重きを置いて勉強していました。教養試験の科目は一日5問など量を決めて毎日コンスタントにやっていました。使った教材は過去問集を各科目一使い、その教材を何周も行いました。

・専門試験

専門試験は8科目選択ですが、余裕をもって9科目取り組みました。勉強方法としては、教養科目と同様、各科目一つの過去問の教材を何回も使い、間違ったところを直しながら勉強を進めました。何周も同じ教材を使い勉強を進めることで、はじめは解けない問題も次第に解けるようになり、知識が定着していったと感じています

・二次面接・官庁訪問

二次面接は、学校のキャリア支援センター等を利用し面接の練習をしていただきました。自分の伝えたいことを端的に理論的に言うこと、聞かれたことに対して正しい答えを返すことを意識していました。

官庁訪問も二次面接と同様、学校のキャリア支援センター等を利用し、練習を行いました。話す内容等は二次面接と同じことを意識していました。官庁訪問では自分から質問したいことをいくつか考えておきました。あとは、持ち前の元気の良さ等を出せたと思っています。

内定者K

【出身地】 青森県

【最終学歴】 大学卒業見込み

【趣味／特技】 趣味：博物館巡り 特技：淡水魚の同定

志望動機

私が環境に興味を抱いたきっかけは、東日本大震災の被災地を見たことです。塩害により枯れ果てた山や積み重なったがれきの風景は、小学校5年生だった私にとって衝撃的なものでした。その後も環境に興味を持ち続け、大学では生物多様性の保全や地球温暖化について専門的に学びました。その中で、人間にとって有用かもしれない生物が、日の目を見ることなく絶滅している状況を改善していきたいと考えるようになりました。そのため、私は環境省を志望しました。

勉強方法・面接対策

・基礎能力試験

教養試験は、言語と数学系の配点が大きいです。そのため、この2つを中心に勉強をするといいです。言語は英単語等を一から覚え直すことは労力がかかるため、答えに直結することは後ろに書いていることが多いなどのテクニックを上手に使うことがコツです。数的推理などの数学系の科目は、多くの問題を解いて慣れることが重要です。しかし、全てが完璧である必要はないです。例えば、私の場合はどうしても空間把握が解けないため、ほとんど勉強はしていません。満点を目指す試験ではないため、ある程度の諦めも大切だと思います。

・専門試験

憲法や民法といった法律系の科目は、選択肢の文章量が多いだけでオーソドックスな出題が多いです。判例を理解するなど基礎的な勉強が終わった後は、問題集を解きつつ復習することで十分合格レベルに至れると思います。一方、経済は個人的な主観ですが中々難しいと思います。解きやすい形にするためには、少し工夫する必要があるためです。問題集で慣れることはもちろんですが、本番の時に時間いっぱいまで粘ることで解き方が見えると思います。

・面接対策

面接はとにかく模擬面接で対策しました。その中で思ったことが、自分にとってはなんてことはない経験であっても、人から見るとそうではないということです。他の人もこれくらいは経験しているではなく、自分の経験に自信を持ってアピールすることで、面接も有利に運べると思います。気持ち勝負な面もあるため、ポジティブな気持ちで臨んでください。

内定者 L

【出身地】千葉県

【最終学歴】大学卒業

【趣味特技】映画鑑賞・ゲーム・散歩

志望動機

私が環境省を志望した理由は、環境問題対策だけでなく相乗効果で経済の発展に貢献できることにあります。

前職では環境に配慮した商品のメーカーの営業として活動をしていましたが、レジ袋有料化の際の消費者の環境への意識の高さはもちろんのこと、またそれに関連したキャンペーンなどにおいて大きな金額が動くのを間近で感じました。

施策などを通じ、環境に関することに限らずに幅広く貢献できる魅力があると感じたため、志望しました。

勉強方法、面接対策

●筆記試験

参考書・過去問を繰り返し確認しました。

特に、苦手な科目を重点的に取り組むことで点数の底上げにつながったのではないかと考えています。また、勉強する場面によって科目を変えるのも良いと思います。

苦手な科目は机に向き合って集中して勉強するときに、得意な科目は通学時間や隙間時間に・・・のように配分が重要です。

●面接（官庁訪問含む）

予備校等の体験談を参考にしていました。

よく聞かれる質問には傾向があるようなのでその対策がほとんどです。

特殊な質問に備えるよりも、志望動機や、学生時代に力を入れたこと、入省したらやってみたいことなどの受け答えを練習するのが良いかと思っています。

おわりに

「内定者の声」を最後までご覧いただき、ありがとうございます。この冊子は、令和5年度入省予定の一般職事務系(大卒程度)の内定者が内定までの過程をまとめたものです。公務員試験はご存じの通り勉強の範囲が広く、筆記試験だけでなく面接もあるため不安なことが多いと思います。こちらの冊子を通じて、皆様の疑問や不安を少しでも解消出来たら嬉しいです。また、環境省では他にも説明会やSNSなどを通じて入省に関する情報をお届けしております。これらによって環境省のことがもっとわかると 생각합니다。公務員試験は長い戦いになりますが、諦めずに続けることが重要です。皆様には後悔の残らない就職活動をしてほしいと切に願っております。環境省でともに働ける日を楽しみにしています！

令和5年度環境省入省予定
一般職事務系（大卒程度）内定者一同

※環境省について

環境省職員には総合職と一般職があり、それぞれ事務系、自然系、理工系にわかれています。この冊子は令和5年度環境省入省予定 一般職事務系（大卒程度）内定者が作成しています。採用に関する情報に関しては下記 HP を参照ください。

○環境省HP

<http://www.env.go.jp/>

○環境省採用・キャリア形成支援情報 HP

<http://www.env.go.jp/guide/saiyo/index.html>